

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	運営推進委員会を活かした取り組みでは、現在、会議の主体はホームからの報告であるが、「目標達成計画」の進捗管理も会議メンバーの役割として定着してほしい	「目標達成計画」が運営推進委員会のメンバーの役割とする。	運営推進委員会では、外部評価の結果報告と「目標達成計画」に向けての取り組み等を話し合い、年6回会議で勉強会や交流会と共に定着できるよう、計画を立て実践に取り組んでいく。	12ヶ月
2	23(9)	利用者「夢」と思っている希望や思いが、介護計画へと繋がり作成される事を期待したい。	利用者の思いや希望、どんな小さなことでも、介護計画に記載して、実践に繋げ、「夢・希望」の可能性にチャレンジ。	利用者の思いや希望を日常の会話や言動から引き出して、思いを職員一同が理解し、どんな小さなことでも、利用者にとっては「夢」である思いが記載した介護計画を作成していく。	12ヶ月
3	10(6)	ご家族アンケートの結果、要改善な項目もある様々な機会やツールを使い支援が正当な評価を得られるような取組を期待したい。	利用者の家族との信頼関係を築いていく。	本人の思いを聞きながらの支援ではあったが、家族に伝わらない部分もあった。日頃、日常の状況の伝達を行い、プランの説明時には、分かりやすく話し理解を得る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。